

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 12 日

仕 事 の 内 容	学校プール指導補助員配置事業					
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係	課長名	佐藤洋士

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実	総合計画書 (ページ)	31	

予算名	款 <sup>10</sup>	教育費	項 <sup>1</sup>	教育総務費	目 <sup>3</sup>	教育指導費	事業 <sup>11</sup>	教育指導管理事務費
-----	-----------------	-----	----------------	-------	----------------	-------	------------------	-----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 小学校及び中学校の児童・生徒	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 児童・生徒数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 教員による水泳指導を行う際に、配慮を要する児童生徒の事故を防止するとともに、水泳が苦手な児童生徒の指導を行う。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 水泳指導の対象となった児童・生徒数
	③ そのために何をしましたか。 小・中学校では6~9月の水泳授業及び夏季休業中に、教員による水泳指導において指導補助を行う学校プール指導補助員(臨時職員)を配置している。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 学校プール指導補助員(臨時職員)の配置時間

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	6,571	6,612	6,562	/
	成果指標	②の数値	人	6,571	6,612	6,562	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	時間	1,110.5	1,027	1102	/	

3 経費	事業費(実績)		円	1,164,270	1,179,150	1,157,100	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,164,270	1,179,150	1,157,100	
		特定財源	円				
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.01	0.01	0.01	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	82,640	82,530	82,440		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	1,246,910	1,261,680	1,239,540		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 この事業の開始時期は不明だが平成20年度から、これまで夏季休業中の学校プール指導(庶務課:現教育総務課)を教育指導課へ移管し、事務事業を統合した。学校プール指導補助員の確保、事務処理の効率化が図られた。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 特になし

仕 事 の 内 容	学校プール指導補助員配置事業			
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係 課長名 佐藤洋士

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	市内小中学校の水泳指導において、水泳指導補助員の配置に欠員がないようにして欲しいという意見があがった。		

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容		
	関係機関等の連携を継続し、適正な人事配置を継続する。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。		
水泳連盟等に指導員の紹介を依頼し、必要としている学校に配属を行った。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題			
人材確保の方法を検討していく必要がある。			

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	引き続き水泳連盟との連携を密にとり、人材確保に努める。また市報に募集を載せることで市内への周知に努める。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
水泳指導が始まる時期に向けて早め早めに調整を行っていくことが必要である。			
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。